

2018年に動員20万人を超える大ヒット
日本中を深い感動で包んだあの物語には続きがあった!

アルツハイマー病を患った母を
98歳になった父が懸命に介護する日々
そんな中、新型コロナウイルスの波が押し寄せ
事態は急変する。



字幕付き

監督・撮影・語り
&ひとり娘
信友直子

ぼけますから、 よろしく願いします。 ～おかえりお母さん～

母が認知症になっても、父は変わらぬ愛を注ぐ
結婚生活60年を過ぎた90代夫婦の生きる道

2022年/日本/ドキュメンタリー/101分/ビスタ/2.0ch 監督・撮影・語り/信友直子 プロデューサー/渡岡 大島新 堀吉雄 制作/プロデューサー/相澤文紀子
編集/日長田健 撮影/池本亮/河合典久 音楽/池田智子 ライン編集/池田健 製作/高木孝一 制作/プロダクション・スタッフ・ラボ
制作/フジテレビ ネットワン 関西テレビ 信友家 配給/宝島/アンプラグド © 2022/ぼけますから、よろしく願いします。～おかえりお母さん～/製作委員会 www.bokemasu.com



あなんで映画をみよう会冬例会 1月15日(日)コスモホール

人が生きて老いてゆく先には、
必ず死と別れがあります。
でも人生の最終章は悲しいだけではありません。
お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。
今回もまた、誰もが自分のこととして
感じてもらえる物語になったと思います。

信友直子 (監督・撮影・ひとり娘)

ロコミが広がり異例のロングランになった
『ぼけますから、よろしくお願いします。』(18)

あれから4年。90代夫婦の愛の形を描いた感動の物語がふたたび始まる。

広島県呉市 信友直子監督が描くのは年老いた自らの父と母、アルツハイマー型認知症を発症した母の症状が進むにつれ、父は95歳にして人生で初めて家事を覚え、妻を支えている。現実を丹念に見つめた前作『ぼけますから、よろしくお願ひします。』には、令和元年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞、キヌマ旬報ベスト10文化映画3位、ぴあ映画の初日満足度では1位になるなど高い評価を得た。

本作では前作をひも解きながらその後の夫婦の物語を描く。老老介護、認知症、看取り、日本全体が抱える高齢化社会のリアルな問題をありのままに、かつ、時にユーモラスに織りこめていく。認知症とともに生きることの大変さや家族の苦勞に共感する一方で、こんな風に生きられたらと憧れを抱かせてくれるような夫婦の姿があった。



東京で働くひとり娘の「私」(監督・信友直子)は広島県呉市に暮らす両親を1作目完成後も撮り続けた——



「2018年、父は家事全般を取り仕切れるまでになり日々奮闘しているが、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症、入院生活が始まる。外出時には手押し車が欠かせない父だったが、毎日1時間かけて面会に行き、母を励まし続け、いつか母が帰ってくるためにと98歳にして筋トレまで始め周囲を整えてこ。しかし2020年春には新型コロナウイルスが猛威をふるい面会すらままならなくなる。」



ぼけますから、
よろしくお願ひします。

～おかえりお母さん～



2023年 **1月15日**(日) 字幕付き上映

阿南市情報文化センター コスモホール

①10:30～12:11 ②13:30～15:11

お問い合わせ:あなんで映画をみよう会

TEL 090-2788-5465

主催・あなんで映画をみよう会 推薦・日本医師会 日本看護協会
後援・阿南市 阿南市教育委員会 阿南市文化協会

チケット販売場所	チケット
・阿南市文化会館 ・阿南市情報文化センター ・平忍書店 (センター店、羽ノ浦店、徳島店)	【前売】1000円 【当日】一般・大学生・専門学校生 1300円
・中富書店 ・フジグラン ・アピカ	60歳以上 1100円 6歳～18歳及び障害のある方 500円
	【会員】800円(年会費500円)

※コロナウィルス感染予防対策を講じて開催いたします。ご協力をよろしくお願ひいたします。